

拝殿に大正ロマン



美しいステンドグラスの前で朗読したお披露目会

三戸大神宮ステンドグラスお披露目会

三戸町の三戸大神宮（山崎貴行^{きよゆき}禰宜）で16日、拝殿のステンドグラス3作品のお披露目会が開かれ、町内外から集まった約50人が、朗読会や撮影会を楽しみながら完成を祝った。（熊谷勝之）

三戸

八学短大生ら絵本朗読で完成祝う

同神社では、2022年から毎年、拝殿入り口付近にステンドグラス作品を設置し、大正ロマンを感じさせる景観を整えた。

お披露目会では山崎禰宜のあいさつに続き、青森市のステンドグラス作家・高橋優子さんが3作品の制作意図を説明した。

朗読会には、青森市の朗読グループや八戸学院大短期大学の学生が出演。「11びきのねこの町」にちなみ、ネコをテーマにしたオリジナルを含む5作品を朗読した。町域おこし協力隊の村田修子さんがピアノ伴奏で雰囲気盛り上げ、参加者は絵本の世界を満喫した。

友人と訪れた盛岡市の会社員、千葉千尋さん（40）は「初めて来たがステンドグラスがとてもきれい。朗読の世界とぴたり合っていて新鮮だった」と話した。

山崎禰宜は「多くの方々に完成を祝ってもらえて幸せ。今後ともこのように、参加者が神社に来たくなるようなイベントを企画したい」と語った。